

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	都市建設部		
	課名	都市計画課		
	係名	公園緑花係		
	記入者		電話(内線)	243

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称	公園施設改修事業				(3) 事業の 優先度	A	
(4) 総合計画での位置づけ					(6) 事業主体		市			
① 事業の区分	主要事業					(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	普通建設事業費(ハード事業)		
② 施策コード	21203		(総合計画掲載ページ 72 ページ)				会計区分	一般会計		
基本目標(政策)	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)				財源区分		市単独			
基本施策	2-1計画的で魅力あるまちづくり(都市計画)				予算科目		款 8	項 3	目 5	
施策	②公園・緑地の整備				予算書上の		公園整備事業費			
施策内容	3公園・緑地の整備				事業名称		(予算書 143 ページに掲載)			
(5) 事業期間	開始	平成		年	月から	(8) 事務分類		自治事務		
	終了	平成		年	月まで (力年)	根拠法令				

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)
老朽化により魅力の低くなった、また危険な公園施設に対して	公園施設の老朽化及び機能の低下した施設等を改善することにより、市民が公園を活用しやすくなっている。また、市民が愛着と誇りを持って利用できるような、また安全で安心ないこの場としての公園を提供する。 大町児童公園については、地元関係者との協議を行い、意見、要望を取り入れ、隣接する結城蔵美術館との一体活用を検討しながら整備を進める。
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
都市計画課が管理する公園82箇所について ・実施設計委託に基づく改修工事 ・点検結果に基づき修理・撤去・改善等を行う H26城跡歴史公園法面改修工事設計委託 H26水辺公園施設改修工事(あずまや、ハッ橋、太鼓橋) H27大町児童公園測量設計業務委託 H27城跡歴史公園法面改修工事 H28大町児童公園改修工事	安全・安心ないこの場としての公園を提供するため、施設の老朽化及び機能低下した危険な施設を改善する。
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
議会の一般質問では、平成21第1回定例会「公園遊具の老朽化再調査後の点検・整備状況について」、平成27第2回定例会「大町児童公園の活用について」がある。 国及び県からも「公園施設の安全強化について」の周知徹底通知がある。	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映					
実施計画											
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）					
事業内容		27 年度		28 年度		29 年度		30 年度		31 年度	
(1) 事務事業費の コスト	事業費	委託料									
		大町児童公園測量設計業務委託		2,808							
		公園施設改修工事		9,979		1,100					
		大町児童公園改修工事				18,000					
		合計		12,787		19,100					
	財源	国庫支出金 (千円)									
		県支出金 (千円)									
地方債 (千円)				13,500							
その他特定財源 (千円)											
一般財源 (千円)		12,787		5,600							
合計 (千円)		12,787		19,100							
補助・起債制度名				都市公園整備事業債							

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）					単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）										
指標名	公園施設改修工事	目標値	箇所		83	83	83	83		
		実績(見込)値		82	83					
	大町児童公園改修工事	目標値	箇所		1					
		実績(見込)値		1	1					
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）										
指標名	撤去・要望した公園施設改修工事	目標値	%		100	100	100	100		
		実績(見込)値		100	100	100	100			
		達成率		100.0 %	100.0 %					
		目標値								
		実績(見込)値								
		達成率		%	%					
5. 事業評価										
(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。										
(2) 項目別評価										
評価項目・客観的評価					理由					
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	市民の憩いの場として、安全に快適に公園を利用できるようにするため、市が施設を改修、改善する必要性は高い。						
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	結城市が管理する公園であり妥当である。						
	手段の妥当性	A	妥当である	実施設計書に基づく公園改修工事、及び点検委託の結果に基づく老朽化した施設を対象としているため妥当である。						
効率性	コスト効率 人員効率	A	改善の余地はない	簡単な補修については直営で行うなど管理方法を検討しており、また必要最低限な人員で管理を行っている。						
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	誰もが利用する公園を対象としており公平性が保たれている。						
有効性	成果の向上	A	上がっている	老朽化した公園施設を改修、撤去することにより安全性を高めることができる。						
進捗度	事業の進捗	B	どちらとも言えない	公園の安全・安心を目的としているため、事故等が起きないようにするのが目標であるため。						
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。										
公園施設の安全管理の強化は、年々厳しくなっており、安全・安心ないこの公園を提供するため、施設点検により指摘された、老朽化、機能低下した施設については早急に対応を行っているが、予算が厳しい中での対応となっているのが現状である。 撤去後に新しい施設を導入できないなど、市民のニーズに対応しきれていない。										
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？										
点検調査結果をもとに、優先順位を決めて年度ごとに計画的に進めていく。 老朽化した施設などについては、廃止・撤去を検討していく必要がある。										
6. 事業の方向性判断										
評価主体		28年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠					
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		現状のまま継続 (改善・改革なし)			注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。					
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		現状のまま継続 (改善・改革なし)			市民が公園を安心して利用するためには公園施設が安全であることが最重要である。そのため施設の点検調査は不可欠であり、今後も重点を置いて実施する。また、点検調査結果をもとに修理、撤去、改築を迅速に行い、市民のニーズにできるだけ応えるよう自治会の意見などを参考に整備を進める。					
(3) 最終評価 企画調整会議において 評価を行う					上記評価のとおり。					